

2022年度 真如苑 環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ”
公募要項

【概要】

- 応募対象：日本全国各地の環境保全・生物保護 市民活動団体のプロジェクト
- 募集期間：2022年5月10日（火）～2022年6月9日（木）12:00
- 応募締切：2022年6月9日（木）12:00
- 助成対象期間：2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）
- 助成金額：1団体あたりの助成上限金額は75万円

1. 趣旨

現在、地球規模で気候変動や生物多様性の損失を始めとした様々な問題を受けて、持続可能性が問われています。国連により2015年に採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、地球環境の保全と利用のバランスは大きなテーマとなっています。持続可能な社会を未来につなげていくため、今、ひとり一人の具体的な行動が求められています。

真如苑 苑主の伊藤真聰（しんそう）は、このような課題に対して、様々な支援を行ってまいりました。例えば、2011年から苑主ポストカード寄付事業として環境保全・生態系保護・動物保護団体に寄付して参りました※1。寄付はこれまでに、のべ70団体、総額1億8,000万円にのびます。

2020年度から、この寄付金を必要とされる団体に、より幅広くお届けしていくために、一般社団法人環境パートナーシップ会議にご協力をいただき、助成金事業を立ち上げ、支援を行うことにいたしました。この助成金事業では、環境保全・生物保護に取り組む団体はもちろんのこと、日本の地域社会で起きている複合的な諸課題に対して、環境、社会の視点を踏まえ、統合的に課題の同時解決を目指している諸団体への支援や、地域における課題の整理やビジョンの共有といった合意形成に資する活動など、幅広い内容を対象に加え助成をして参ります。

真如苑について

開祖・伊藤真乗（しんじょう）（1906-1989）と妻の摂受心院（しょうじゅ しんいん）（1912-1967）が1936（昭和11）年に立川の地で立教。真乗は、真言宗醍醐派総本山、京都・醍醐寺で出家得度し伝統法流を承け、研鑽を重ね、二人の修行と救済の中から在家教団・真如苑を確立しました。現在の苑主は、伊藤真聰。総本部（東京都立川市）をはじめ、寺院数100カ所以上、信徒数100万人以上（海外含む）。<https://www.shinnyo-en.or.jp/>

※1 苑主ポストカード寄付事業

真如苑の苑主・伊藤真聰がデザインしたポストカード等（年賀状、暑中見舞いなど）を、株式会社一如社を通じて信徒に販売し、その収益金を社会貢献活動に取り組む団体へ寄付する事業。株式会社一如社がポストカード等の製作・販売を行っている。

2. 対象

(ア) 日本国内に活動拠点を置き、主として国内で生態系保護・環境保全活動に取り組む団体。

(イ) 民間非営利団体。法人格の有無を問わないが、1年以上の活動実績を有している団体。資金管理者が明確であれば、協議会などの協働体制も可。5名以上の会員もしくは活動メンバーがいること、規約等の整備、事業報告書、決算報告書といった過去の活動実績が分かるものを発行していること。

(ウ) 連続して2年助成を受けた団体は、その後2年間は申請できない。

3. 助成対象期間

2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）まで

本年4月から既に実施している活動も含まれます。

4. 想定している助成件数

最大10件程度。

5. 助成総額

400万円

1団体で申請できる上限は75万円

人件費も含めることが可能。

6. 申請方法

下記の必要書類を連絡先宛てにE-mailにてお送りください。

(2022年6月9日（木）12:00 必着、郵送不可)

① 別紙様式環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ” 申請書1部

② 添付資料1部（下記の書類を1部ずつご提出ください。）

- ・組織の規約を示すもの（「会則」や「定款」など）
- ・団体全体の直近の事業計画書（含む予算書）、事業報告書（含む決算書）
- ・団体の概要がわかるパンフレットやニュースレター、チラシ類（主要なものを2点程度）
- ・団体の責任者および事業担当者の略歴（様式自由）

※ 申請のためにいただいた情報は、助成の審査に関してのみ使用し、助成に関係しないものには、一切、使用いたしません。

※ ご提出いただいた応募書類はお返しできません。

※ ご提出書類はメールにてワード、エクセル、PDF等の添付ファイルにてお送り下さい。

（郵送不可）送付データが5MBを超える場合はメールを分割して送るかファイル転送サービスを利用すること。

[送付先]

一般社団法人 環境パートナーシップ会議 (EPC) 担当：江口・伊藤

メール：shizen-josei [※]epc.or.jp [※]を@に変更してください。

7. 選考委員会

株式会社一如社、真如苑関係者と環境保全活動や市民活動の専門家（2名程度）による選考委員会にて、採択団体を決定。

8. 審査基準

- ① 申請動機、活動内容、効果、目標設定、継続性が適切、妥当かどうか。
- ② 統合性を意識した課題設定
地域の社会課題と環境課題の解決、地域における SDGs の達成に役立つかどうか。
- ③ パートナーシップ構築の可能性
事業実施に必要な体制が構築されているか、自団体の資源で足りない点を補う地域内外のステークホルダーの存在を想定し、巻き込むことができるかどうか。
- ④ 取組の遂行能力
過去の実績などから取組を実施することが可能かどうか。

9. 選考通知結果

7月中旬にメールでのご連絡を予定しています。

10. 採択後に行う取組

- ・採択決定後、採択団体は助成金実施のための確認書、振込先詳細を提出し、助成金は株式会社一如社から各団体に振込まれる。（9月頃を予定）
- ・各団体は助成金に対する領収書（5万円以上のみ）を提出し、申請書の計画に基づいて事業を実施する。（助成団体、事務局が活動を視察する場合があります。）
- ・別途助成金事務局が定める報告フォームに従って、期日までに報告書を提出する。
- ・活動内容を広く社会に周知するため、web掲載用の写真数点と200字程度の報告文を提出する。

1 1. スケジュール※助成期間は本年4月から来年3月までです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	募集	募集 選考	交付 決定		支払						報告
事業実施（助成対象）											

1 2. その他

活動実施に当たり、新型コロナウイルス等の感染症拡大の際は国や各自治体の活動自粛要請などに従い、活動実施の場合は十分な感染防止策を講じて下さい。

【事務局・お問い合わせ先】

2022年度真如苑 環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ”

事務局（真如苑より委託）

一般社団法人 環境パートナーシップ会議（EPC） 担当：江口・伊藤

メール：shizen-josei [※]epc.or.jp [※]を@に変更してください。

※リモートワークを一部実施しているため、お問い合わせはメールにてお願い致します。

住所：150-0001 渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B1F

http://www.epc.or.jp/pp_dept/grant/shinnyo